

山形新聞

38年3月15日

発行所
福島県塚町役場
編集課
庶務課

少なく生んで
健康に一
家族計画普及運動
—3月中—

第 17 号

まとまつた農業構造改善

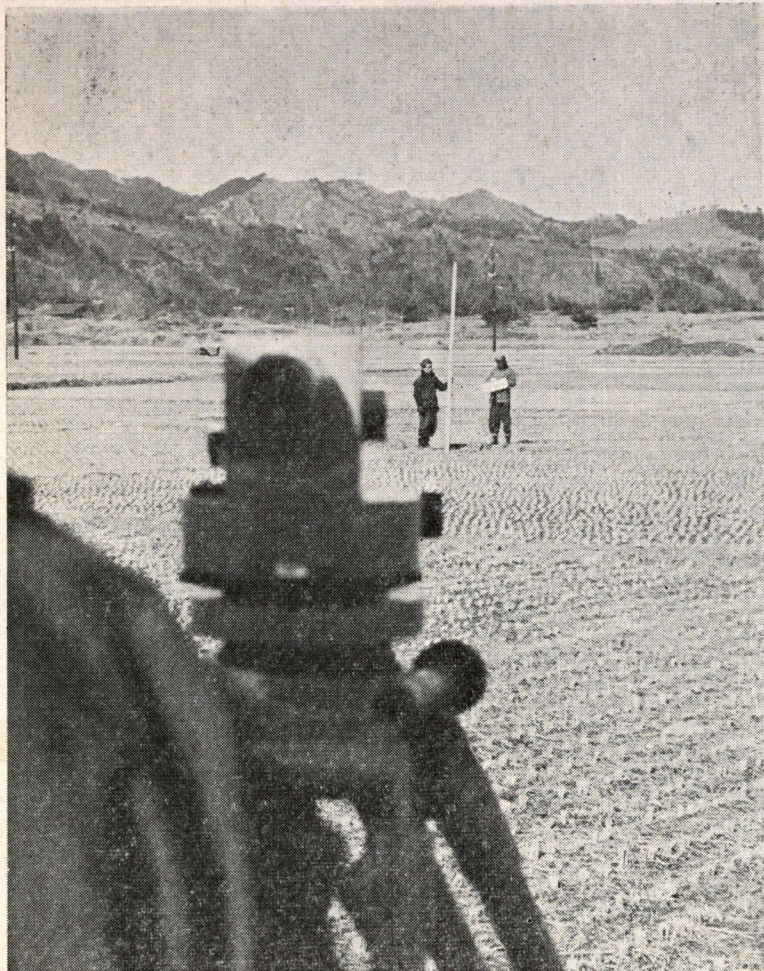
基幹作目一米、こんにやく、市乳

六月から四地区で事業始まる

境町の農業構造改善は、指定申請をしてから、ちよとど一年になり、実施時期が大きく伸びましたが、これは、国でもいままではない大掛りなしごとのため、この取扱い方法や手順などに時間がかかり、これにつれて三十七年度事業実施許可が、遅くれてしまつたためです。このため、町が計画した牧野改良事業の牧草秋時きが間に合わなく

なつたことや、年度押し迫つて、いつきよに第一次分四千二百万円（総事業費は一億四百二十万円）の事業をすることが不可能となつたため、一年間事業実施を見送りました。しかし、四地区（那倉、田代、伊香、中野）の測量も終わり、いよいよ六月から事業実施のはこびになりました。

とりまこめた町の農業構造改善事業は、その基本的方針を米麦を中心として自分が食べる物をつくることを先にした、自給生産農業経営から、売れる物、売れる物をつくり金をとる、商品農産物生産農家に向きを変えて、今までの薪炭生産などの兼業農家から、草資源を有効に利用し、自然に生えている草を牧草に切り替え、畜産を主体とした専業農家にして行こうという方向づけをしました。



もうかる農業へ、測量を急ぐ伊香地区

自立することが容易でない一町二、三反未満の小さい農家を、ほかの産業に就労させ、これは逆に兼業農家に切り替えることを目標としました。

このさいは、現在行なつてい

る農業を極度に省力経営に切り替え、余つた労力を新しい部面

で金に換える方法をとること

しました。

このため、大きく労力を要する米作りの改善をはかること

余つた労力を草資源に結びつけた多頭飼育の乳とりや、すでに全国的に商品産地化がなされて

いるこんにやくの生産をこころに考えようとするものです。

これらの考え方により、農業構造改善事業でいわれている、

「主産地形成」の基幹作目として、

那倉、田代、伊香、中野をモデル地区

支那、備中、在来と品種が混雑し銘柄が落ちていたので、これを在来品に統一する。共同乾燥施設や貯蔵施設などをつくり生産農家が団結し、生産技術の向上と販売技術や体制を整え、全国的な強固な主産地とし、有利な販売をはかるようにする。

このような構想の上に、山間部のモデル地区として那倉、田代を指定し、それぞれ市乳生産とこんにやく生産経営を改善して行くことにしました。

一方平坦部のモデル地区としては、伊香、中野地区を指定し

◇米◇

田や畑を平坦部一枚三反歩の大区画とし、山間部は長形大区画とする。分散地は集めて整備し移植栽培に直播（じきまき）方式をとり入れる。二十〜三十馬力のホイルトラクター等で二環作業の米作りをし、労力を少なくして生産費を減らす。

◇市乳◇

広い牧野の草質を改良するとともに田畑の一部を牧草飼料化し、安くあがる自給飼育を充分に確保する。一部を共同管理にして乳牛を一戸当り五頭前後飼うようにする。

◇こんにやく◇

省力米作りをして余つた労力で新たな現金収入をはかつて行くようにしました。

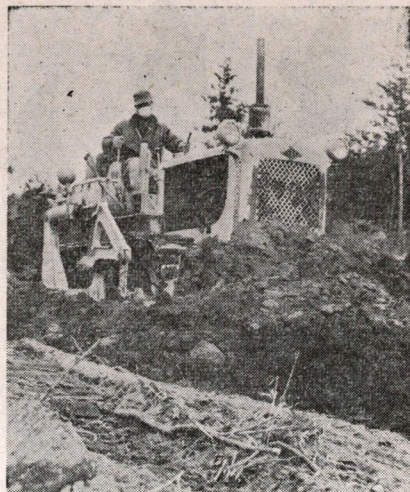
これら四地区は、それぞれ測量や設計などこまかい計画もできあがり、県の予備協議も終わりました。

これから本協議と農林省の審査をへて、構造改善事業が着手するのは、今年の六月ころになる見込みです。

地区別の事業内容など数字的なことは、次号に掲載する予定です

強化される機械化センター

四月からブルとトラクターでフル運転



四町村が共同運営

昭和三十六年十月から、埴農業改良普及所内に開設された農業機械化センターは、この四月から運営のしくみを変え、機械を充実して、土地改良や牧野改良などに、さらに活躍することになりました。

現在の機械化センターは、郡内四町村が機械化センター協働会という任意の組織をつくり、活躍する機械化センターのブル（上石井で）

分担金を出し合い、県から借り入れた一台のブルトラクターを共同使用してきましたが、これでは運営の方法がスツキリしないことや、最近農業に機械をとり入れることが進み、一台では足りなくなった。四町村と県のあいだで話し合いをしてみました。四月から①新たにホイールトラクターを一台入れる。②運営のための組織を郡内四町村の二部事務組合（最近できたし灰処理組合のように）とする。ことが本決まりになりました。

通・行・止・め

◆下植田橋 老朽となつたため、下植田から南石井駅に通する区間は車が通れません。

◆宮田地内踏切 駅構内の踏切を移す工事のため、厚生病院前―宮田間は、人も車も通れません。

（期間―当分のあいだ）

片貝小増築完成

片貝小の増築工事は、きよ年10月10日着工、完成を急いでおりましたが去る2月20日9坪の校舎が完成しました。工事費は30万円。大滝工務店の請負い。

（写真は完成した校舎）

所得申告は済みましたか

まだ申告書の届がない方（生活保護家庭を除く）、申告の済んでいない方は、三月二十日までに役場で申告してください。もし申告をしませんと余計な税金がかかります。



統 合 中 間 題

町長から、統合に必要な条件やその方法について、調査を依頼された中学校統合調査会は、去る一月二十八日から四分科会ごとに、こまかな調査を行なってきましたが、それぞ

調査会、町長に答申

四分科会の結論がでる

分科会の答申内容は、本紙二月号掲載の記事と大体同じなので省略し、ここでは、第三、第四分科会の答申内容を要約してあげました。

◆第三分科会（関係地域住民の民意の調整担当）

組合学校を設立して欲しい要望があつた。（これは、去る二月二十五日、高城中学校において開催した「移動広報室」において、植田地区から反対表明があつたものである。当日は約百二十名の参加者「伊香、真名畑か

第一分科会、第二分科会の結論により協議したが、方部的意見は次のとおりである。

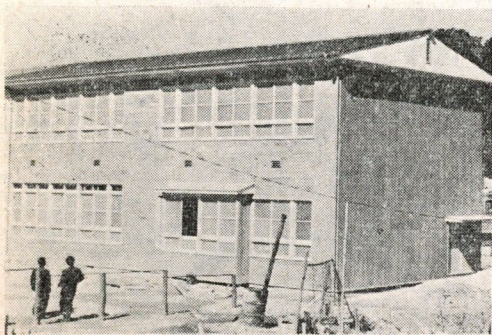
高城地区の意見 第一、第二分科会を基礎にして意見を聞いたところ、植田地区に賛成である。

山かけ方部の意見

この答申事項は、各分科会（このものですが、いずれも、埴原、高城中の三校統合をたてまえたもので、しかも敷地を竹之内・板庭アロックスしたものをも基本としております。

四分科会のうち、第一、第二

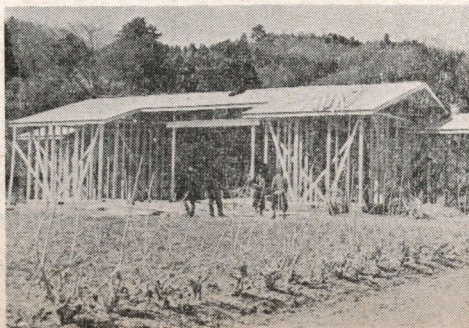
フォト・ニュース



月末には完成
高城中寄宿舎

入山分校の生徒を入れる高城中学校の寄宿舎は200万円の工事費で1月18日着工しましたが、3月10日現在70%ほどできあがりました。45坪で、これも大滝工務店の請負い。

（写真は2月25日写す）



新入生を持つ家庭へ 用品より心の準備が大切

習慣をつけるよいチャンス

この春、小学校に入学されるお子さんをお持ちの家庭では、喜びに胸をふくらませて入学式をお待ちのことでしょう。

さて、入学の準備としてはどのようなことをすればよいか考えてみましょう。入学ということランドセルとか学用品の準備がまず頭に浮びます。このような物の準備ももちろん大切ですがそれ以上に必要なことは、からだや心の準備です。就学の時期は、子どもによい習慣をつける

交通訓練も忘れずに

お友だちとよく遊ばせ、だれでも仲良く遊べる子どもにしておきましょう。大人相手や、ひとりではかり遊んでいる子どもは、とくに社会性に欠けています。

また、家庭で不用意に「そんなことをすると学校の先生に叱られますよ。」とか「先生にいつけますよ。」ということばを口走つたりしないように注意しましょう。学校は楽しいところで先生はやさしくお世話をしてくださる方として安心感を持たせることが大切です。



おひる5分前

「ワイ給食だ」正午5分前の教室は、歓声とミルクの音においでいっばいになる。

真白いマスクをした当番の生徒は、その日の献立てをだまつてくばる。

「いただきます」栄養満

点の完全給食は、たちまちたいらげられる。このころ給食のおばさんはホット一息入れる。一学校給食は、埴小、常豊小が2月から始めたので、すでに実施している笹原小と全部で3校になりました。

埴小1年教室で写す

健康上の注意

入学しますと、急激に生活が変わり、子どもは相当疲れまうので、なにより学校生活にたえる体力をつけておくことが必要です。予防注射、結核診断はもちろん、虫歯、トブラコマーなど悪いところはなおしておく。

しつけておきたいこと

☆身のまわりの始末ができるように

自分のことは自分でできるようにしつけておきましょう。

自分の着物の脱ぎ着がひとりできる、ひとり用便が使える、食事の前に手洗いをすると

☆生活の規則正しく

学校に入つていきなり規則正しい生活になれさせることは無理です。起床、就寝、食事、おやつなどの時刻をきめて、規則正しく、生活する習慣をつけておきたいものです。

また交通事故の多い近ごろのことですから、通学コースにはとくに注意が必要です。もつとも安全な道順を選び、いつもその道を通るように決めておきましょう。交通規則も教え、安全に通学できる練習をしましょう。

公明な選挙で育つ地方自治。

4月17日は県会議員選挙

今年では地方選挙の年ともいわれ全国的に多くの県や市町村で選挙が行なわれることになつていいます。本県も県会議員選挙をはじめ市町村の選挙が百四十九件にものほります。

この選挙を「統一地方選挙」と呼んでおりましたが、埴町では県会議員選挙だけが該当し、四月十七日に行なわれます。

この選挙は四月二日に告示され、当日から選挙運動が展開されることになつていいます。

過去幾度か行なわれた地方選挙をふり返つてみますと、選挙区域が比較的小さいということ、その選挙戦は一票を争う接戦となり、そのため買収、キョウオウなど悪質な不正行為がみられています。

各選挙が行なわれるたびに選挙人のあいだでよくいわれる公明選挙は、現実には単なる宣伝文句に終つてしまつては残念なことです。これはだれの責任を追求するまでもなく、選挙人自体に責任があるわけで、選挙人は、候補者の情実やうまい話にまどわされないう、常に公正で慎重な判断力をもつて候補者を選び、金銭、物品、情実による選挙を開放して、明るい、正しい選挙が行なわれるよう協力し合いたいものです。

お知らせ

××××××××
戦役者追悼式

日清・日露戦争以降戦死した四百三十五の霊をむらう今年

の戦役者追悼式は、お彼岸中の三月二十二日中央集会所で行なわれます。

××××××××
青年学級生募集

三十八年度埴町農業青年学級生を次のとおり募ります。

希望者は、三月二十五日まで入級願書を町公民館に提出して下さい。

××××××××
納税組合長大

三十七年度納税組合長大は三月三十日午前九時から中央集会所で行なわれます。

××××××××
農始祭

今年も豊作であるよう、初のころみとして次のとおり開催いたします。

▽とき 三月二十九日 午前十時

▽ところ 中央集会所



おねがい
本紙は、4月5日紙面より
お届けたいご希望は、4月5日紙面より
紙面よりお届けてください
紙面よりお届けてください
紙面よりお届けてください
紙面よりお届けてください

農事だより

今月の農作業

育すうの時期がきま
した。養鶏専業農家は
もちろん、自家用の蛋
白源としても育すうの
計画をたてましょう。
新鮮卵を食卓にのせ
るために初心者にもできる時期
をにがさぬよう。

育すう計画のたて方
育すうに適する時期は、良い
順にいえば①三、四月、②一、
二月、③九、十月です。
品種は実用採卵鶏としては純
系よりも交配種を使つた方が有
量はきわめて少なく、このまま
では、外国の農業者との競争にも
勝てないし、農家自体の力がな
いので農産物の値下りにも耐え
られなくなるので、どうしても
人手をかけた農業をやつてい
かなければなりません。
つまり、生産コストの低下が
必要で、このためには単位当り
の生産力をあげることと機械使
用によつて作業効率を高め、労
働の生産性をあげることが大切
なわけです。土地改良は、この
ような方向に進ませるために
こそ行なわれる必要があるとい
えます。

利です。
ヒナは価格にこだわらず、丈
夫な多産鶏を信用あるフカ場で
求めること。産卵指数の高いも
のを求めよう。
育すうの要点
市販の育すう器は規定の収
容羽数より少なめにする。一平
方メートル四十羽前後が基準。
育すう器はよく消毒して、温
度はヒナ到着二日前から調節し
ておくこと。消毒は熱湯または
五％クレゾール石けん液、クロ
ールペンゾール二％液がよい。

変わってきた 増産目的

土地改良事業が本格的に行な
われるようになったのは、明治
三十四年、「耕地整理法」がで
きてからです。しかもこれは、
大体が地主の主導力によつて行
なわれていたもので、規模も小
さく作物の生育条件を良くする
土地改良には割合多くの努力が
はらわれてきました。労働条件
を良くするための土地改良は
ほとんど行なわれませんでした
ところが、戦後農地改革が行
なわれてから、昭和二十四年に
地主中心の耕地整理法が改正さ
れ、新たに「土地改良法」がで
きて、土地改良も耕作者中心に
なつて、増産の目的がだんだん
労働生産性の向上に変わつて
きました。

いまが国の農業をみてみる
と反収は、世界最高の水準にあ
りますが、農民一人当りの生産
量はきわめて少なく、このまま
では、外国の農業者との競争にも
勝てないし、農家自体の力がな
いので農産物の値下りにも耐え
られなくなるので、どうしても
人手をかけた農業をやつてい
かなければなりません。
つまり、生産コストの低下が
必要で、このためには単位当り
の生産力をあげることと機械使
用によつて作業効率を高め、労
働の生産性をあげることが大切
なわけです。土地改良は、この
ような方向に進ませるために
こそ行なわれる必要があるとい
えます。

多い土地改良 の効果

土地改良をやれば、耕地の条
件が変わるので、当然作物の種
類も品種も栽培方法も多かれ少
なりになります。

土地改良と農業経営

このほか、いろいろな農産加
工を行なつたり、各人がばらば
らに作業をしないで共同作業を
すれば、仕事の能率は更によく
なり、経営の合理化がはかられ
ることになります。

営農体系の再 編成にも

このように土地改良事業は、
土地改良そのものについて総合
的に実施すべきことはもちろん
ですが、土地条件の変化に応じ
た水稻の栽培改善、水田利用方
式の改革、更にこれにともなう
営農体系の再編成にまでおおよ
び総合的に行なわれるべきであ
るといえます。
(土地改良区合同事務所)

新農薬

魔法の除草剤 スタム乳剤

◆イネの生育期に全面散布を
してもイネには被害がなく、雜
草だけを枯らすのが特徴で、魔
法の除草剤、ともいわれており
と期間の短縮など作付の方法を
変えたり、品種の選定をし、便
利になつた農道で堆肥をどん
どん耕地に入れて収量を増したり
また節約された労力で裏作導入
や多毛作化も可能になります。

◆適用雑草は陸稲、畑苗代、
桑、ネギ、じゃがいもの雑草、
ヒシバ、アカザ、タデ、ノビエ
エノコログサに効果がありま
す。
◆使い方は接触型ですから、
おもな雑草が生えそつて三、
四葉になつたときが適期です。
P.C.P.のように播種後すぐ、や
草が大きくなつてしまつては効
果がありません。十アール当り
八百CCを六、十、百ℓの水に
とかし、よくかきまぜる畑苗代
では稲苗が二、三葉期に一ア
ール当り四十ℓ八〇CCを十五ℓ
二十ℓの水にとかして散布し
ます。



少なく生んで健康に

家族計画普及期間—3月中

昭和二十三年に優生保護法
ができて、①不良な子孫の出
生の防止、②母体の生命健康
を保護することを目的に、中
絶が認められるようになり
ました。
その後この人工妊娠中絶は
年を追つて増え、母体を保護
するどころか逆に傷めつける
ような結果を招きました。近
頃は、中絶国日本といつたあ
りがたくなつた汚名さえ世界各
国から頂戴し中絶のきびしい
米困あたりから、わざわざオ
ロシにくるとい
つた話しも聞き
ます。
これでは困
と優生保護法の
改正も考えられ
ましたが、中絶
断絶の決め手は
なく、今も相変
らず婦人科医の
待合室には中絶
希望者があを
たちません。
中絶をしなければならぬ
理由はいろいろあることと思
います。しかし芽生えてきた
生命を自らの手で断つこと
と、自分自身の貴重ならだ
を傷めつけることは、なんと
弁解しようと思われもので
ありません。
よく、子どもを育てるには
環境が大切だといふます。し
かし、子どもをたくさんかか
え、この子どもたちが一人前
になるまでは、と現在をギセ
イにした生活は、過程が大切
な人間形成のために、決して
賢いやり方ではなく、極端
にいいは良い環境づくりに反
するものでしょう。
生んだ子が一人前になるま
での家族の生活計画をたて、
その子にゆき届いた愛情を注
ぐことこそ大切な母親のつと
めであると思ひます。
授乳時間の惜しまれる秋、
五月の農家の主婦、共かせぎ
を止むなくする家庭、病弱な
母親、生活が容易でない家庭
にあつては、なお
さら計画的な子ど
もの生み方が必要
になつてきます。
今では簡単にお
ろすことができる
ことを知つてい
るうちに、受胎調節
の方法がいろいろ
あることも皆さん
はおわかりと思ひ
ます。ただそれを
うまく自分のもの
にすることができないところ
に問題があるのでしょうか、
そうした方には役場、保健所
婦人科の先生、助産婦さんが
ご指導することになつており
ます。
なお、役場では毎週土曜日
だれにもわからない衛生室で
ご指導いたしますから気軽に
ご利用下さい。
(埴町役場保健婦・菊池)